

しのばず自然観察会より 2022-8 2022.08.01

2022年8月の活動 不忍池定点観察

集 合：2022年8月14日（日）午前10時 不忍池 蓮池南西端
緑の小旗あり（野外ステージ西側、湯島天神下交差点寄り） 今回は雨天中止
持 物：筆記用具、双眼鏡、雨具 飲み物、マスク、敷物、日傘、（昼食）
解散は午後1時頃ボート池畔または藤棚 暑さ対策も！



不忍池がある台東区では、新型コロナ新規感染者数は他区に比べ少なく推移していましたが、ここへ来て急増に転じました。7月下旬現在、感染率、感染者数とも今年1～2月のピーク時を越え過去最高値、一方、生活行動・レジャーは緩め放しで以前のような制限が発動されていません。気を緩めることなく、感染防止に努めてください。

9月の活動予定 不忍池定点観察

2022年9月11日（日）午前10時 不忍池 蓮池南西端集合 の予定です。

2022年7月の活動 不忍池定点観察 より

天気も曇りで暑すぎずの7月10日、7名の参加でのスタートとなりました。ハスの花は満開の少し手前でしょうか。この日の観察では、チョウトンボが主役でした。蓮池の周りを歩く間、あちらこちらでこのトンボに出会いました。こんなに頻繁に見かけたのは初体験でした。トンボ一般と違って、前羽根と後ろ羽根がバラバラに動く感じで、ゆっくり、チョウのようにヒラヒラと飛ぶ姿が印象的でした。羽根の一部が紫色に輝く特徴も確認できました。

昼から晴れ上がり、日焼けした腕が10日以上かゆかったです。（小川潔）

7月の観察記録 動物：カルガモ、カワウ、スズメ、ハシブトガラス、ドバト、ウミネコ、ミシシッピーアカミミガメ、クサガメ、コイ、シオカラトンボ、コシアキトンボ、チョウトンボ、アオダイショウ

植物 開花（または実）：マメグンバイナヅナ、セイヨウタンポポ（4倍体雑種）、ハス（移入）、ワルナスビ、ガマ（移入）、キョウチクトウ（移入）



チョウトンボ



ハスの花



ワルナスビの花



ガマ、



ガマの花穂拡大

花穂拡大写真で、下部クリーム色部分が雌花群・上部茶色部分が雄花群)

しのばず自然観察会が発足から15年ほど事務局を置いていた上野公園内の彰義隊墓所とその墓守の歴史を伝える「上野彰義隊 墓守の伝承」が子孫の小川潔により刊行されました。案内チラシを同封させていただきました。書店やネットでの注文で買えます。問い合わせは、しのばず自然観察会の小川潔まで。

しのばず自然観察会 事務局 〒110-0001 台東区谷中3-1-9 小川潔 方
1975年創立 電話 03-3828-8775 URL : <http://sinobazu.extrem.ne.jp>
郵便振替 00100-8-84609 しのばず自然観察会 年会費 2,000円 ほかに行事参加費

**2021年以前の会費未納の方もお忘れなく！退会の場合は早めに葉書で事務局へ。

6月12日 アカガシラサギを見つけた時の様子

小川千恵子

6月12日の観察会、集合地から蓮の花を探しながら、反時計回りに蓮池をグルーッとまわって行きました。蓮の花は一輪だけ満開、手前の大きな葉が風に揺れてかしいだ時に見えるという状態でした。あとは蕾が何個か見つかりました。

皆で蓮池東側を北上していましたが、その時私は皆より20m程先を歩いていました。たぶん11時頃。弁天堂参道の入り口の少し手前で池の面※①に浮いている蓮の葉の上に白い羽がパッと広がるのが見えました。ああ、またあの白いハト※②かと思い、それでもハトが蓮の葉の上に居るのは珍しいから見ておこうと双眼鏡をのぞいて見ると！！エエッ???何これ??

鳥までの距離は10～12m、大声を出しては飛んで行ってしまうので、声は出さず、双眼鏡で鳥をとらえたまま、左手で皆においでおいでのポーズで知らせましたが反応全く無し。それで左を向いて「何か変な鳥がいる！」と声をかけ、また双眼鏡をのぞきました。枯れ葉に紛れてやっぱり一瞬どこにいるのか見失いました。双眼鏡に入ったので、「ゴイサギ※③より小さくて、細くて脚が長くて黄色、首が長くて頭と首は赤茶色で背中中は黒っぽい、お腹は白で嘴は細くて長く嘴の下の方は黄色で先っぽは黒。目の周りは白」（あとでメジロみたいにと言えば良かったと思いました）とこの鳥の特徴を声に出していました。

何だろうと、スマホに思いつく名を入れてみましたが見つからず、鳥は少しすると葉の陰に入りこみ見えなくなりました。

解散の後、ちょうど来たバスに飛び乗り帰宅。早速日本野鳥の会発行の図鑑を開きました。鳥の特徴は声に出して伝えていたのでこの時は全く迷わず、すぐにアカガシラサギであることがわかりました。ただアカガ・シラサギ??→アカ・ガシラ・サギ→アカガシラサギと迷いました。

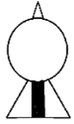
小川潔が帰宅して、すぐにアカガシラサギであることを告げました。潔がインターネットで調べると最近2羽が葛西臨海公園に居て、この日は1羽しか見えないと載っていたとのこと。たぶんその1羽が不忍池に来ていたのだろうと話しました。

スマホでは動画が見られ、夏羽であることがわかりました。冬羽は地味で背は黒っぽい灰色、顔、頭から胸は黒っぽい灰色と白のたてじま模様、下腹は白で、飛ぶと白い翼が黒い棒にくっついて飛んでいるように見えます。

※①：他の蓮の葉は背丈が高くなっていましたがここだけは、水面に密着した形で葉が広がり、岸近くには水面も出ています。ちょうど岸から水が流れこんでいる場所で蓮の生育が抑えられている所なのかも知れません。この水はどこからきているか?というところ、小川潔の話では上野公園（お山の上）の大噴水のところにある非常用の保管水で、定期

的に入れ替えの為に放出している水だそうです。この日は水が流れていたか覚えていませんが7月10日の観察会では結構な水量で水が流れ込んでいました。

※②：白いハト：ここ2～3年見かける真っ白なハトで、最初はコサギにしては小さいが何？と思って双眼鏡で見ると白いハト。冬場はユリカモメにしては変な動きと思って見るとこのハト。ハトたちに混じって見える白い鳥は何？と見るとこのハト。実は扇状の尾羽を三分割したまん中1/3が黒いだけの真白なハトです。



※③：この場所の3～5m奥のよし原の枝下に時々ゴイサギを見付けます。

以上がアカガシラサギを見つけた時の様子でした。T. Tさんが参加していたらすぐスマホで調べてくれたのにネという声がありました。またこの日はご常連さんが3人も欠席、久しぶりにHさんが参加！（前回のスッポン騒動の時は一年振り（？）にTさんが参加していました）

ついでに7月10日（日）の感想

蓮の葉はぐ～んと丈を伸ばし私の背より高い。花はボツボツと満開で、実になったものもあり、蕾もまだたくさんありました。葉は蓮池も動物園池も一面に茂り、ちょうど南風が吹くと一斉に葉が向こうへかしぎ、白い葉裏が手前から向こうへ流れるさざ波のように一面に広がるのがとても美しく感じました。

下町資料館のそばである男性があざやかな黄緑色の1.5cm×5cm位の幼虫を「エサだよ」と鯉に落としました。「何の幼虫ですか？」と尋ねますと、「何かの蛾だろうね」と言いました。幼虫は池の底に落ちたままで鯉は見向きもしませんでした。その人が「ヘビがいるよ」と言い、見ると2m以上あるアオダイショウが、いつも池横にたむろしている人につかまえられてダンボール箱に入れられてました。あのあとあのヘビはどうなったのでしょうか？前に観察会で見たヘビだと思います。



左の写真の中央やや左の赤枠内にアカガシラサギが写っています。右は拡大写真。